



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社CARTA HOLDINGS 上場取引所 東
 コード番号 3688 URL https://cartaholdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 宇佐美 進典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 永岡 英則 TEL 03-4577-1453
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	6,483	9.1	1,675	32.6	1,988	67.6	1,344	94.0
2020年12月期第1四半期	5,944	—	1,263	—	1,186	—	693	—

(注) 包括利益2021年12月期第1四半期 1,678百万円 (895.9%) 2020年12月期第1四半期 168百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA	
	円 銭	円 銭	百万円	%
2021年12月期第1四半期	53.34	53.09	2,478	54.7
2020年12月期第1四半期	27.26	27.13	1,602	—

(注) 2019年12月期は、決算期変更の経過期間となり15ヶ月間（2018年10月1日～2019年12月31日）を対象とした変則決算となりますので、2019年12月期第1四半期は、2018年10月1日～2018年12月31日の連結経営成績を対象としております。このため、比較対象となる期間が異なることから、2020年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ EBITDA（利払い前・税引き前・償却前利益）は、税金等調整前四半期純利益に支払利息、減価償却費、償却費、のれん償却費、固定資産除却損及び減損損失を加えた金額です。なお、2021年度より指標の有効性向上を図るため、固定資産除却損及び減損損失を加えるようEBITDAの定義を変更しております。従前の定義による2020年12月期のEBITDAは、1,558百万円となります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	50,567	25,242	49.6	993.57
2020年12月期	49,259	24,553	49.5	967.47

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 25,064百万円 2020年12月期 24,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	8.00	—	40.00	48.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	百万円	%
通期	24,500	8.9	3,800	9.7	3,700	10.9	2,400	34.7	95.25	5,000	21.0

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	25,528,052株	2020年12月期	25,496,852株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	301,042株	2020年12月期	301,018株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	25,204,196株	2020年12月期1Q	25,424,006株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年5月13日（木）に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。その説明会の動画については、当日使用する四半期決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力事業が属するインターネット広告市場について、株式会社電通の調べによれば、2020年のインターネット広告費は、新型コロナウイルス感染症拡大による消費の低迷および広告出稿減少の影響を受けたものの他メディアよりも早く回復基調となり、2兆2,290億円（前年比5.9%増）となりました。

運用型広告費は、巣ごもり需要によってSNSやEC、動画配信サービスへの接触機会が増え、大手プラットフォームを中心とした運用型広告の需要が高まったことにより、1兆4,558億円（同9.7%増）となりました。また、マスコミ四媒体由来のデジタル広告費は、運用型広告の活用がさらに進み、803億円（同12.3%増）となりました。

こうした環境のもと当社グループでは、①メディアレップを中心に広告の販売及びソリューションを提供する「パートナーセールス事業」、②広告配信プラットフォームを運営する「アドプラットフォーム事業」、③自社メディアや、EC・ゲーム・人材領域でのサービスを運営する「コンシューマー事業」の3セグメントにおいて事業を展開し、持続的な成長を実現するべく当社グループ全体での垂直統合を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,483百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益1,675百万円（同32.6%増）、経常利益1,988百万円（同67.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,344百万円（同94.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高及び振替高を含む数値を記載しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「アドプラットフォーム」セグメントに含まれていた一部の事業を「パートナーセールス」セグメントに区分を変更しております。そのため、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の報告セグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①パートナーセールス事業

パートナーセールス事業では、メディアレップを中心に広告枠の販売及びソリューションの提供を行っております。運用型広告や販促・EC関連サービスへの取り組み、自社商材・ソリューションの販売拡大等による、新たな収益源の獲得に取り組むとともに、従来のメディアレップマージンを確保すべく業務効率化を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるパートナーセールス事業の売上高は3,064百万円（前年同期比23.0%増）、セグメント利益は1,039百万円（同45.7%増）となりました。

②アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業では、運用型広告プラットフォームとして「Zucks」、「PORTO」、「テレシー」等の運営を、メディア支援サービスとして「fluct」や「BEYOND X」等の運営を行っております。各プラットフォーム及びサービスにおける機能の向上・拡充に取り組むとともに、顧客企業の需要を取り込み、堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるアドプラットフォーム事業の売上高は1,785百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は491百万円（同6.9%増）となりました。

③コンシューマー事業

コンシューマー事業では、「ECナビ」や「PeX」を中心とした販促メディアや、「神ゲー攻略」や「コトバンク」といったコンテンツメディアの運営に加え、EC・ゲーム・人材領域でのサービスの運営を行っております。既存メディアの規模拡大や、成長領域への取り組みの強化を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるコンシューマー事業の売上高は1,636百万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益は144百万円（同59.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末より1,307百万円増加し、50,567百万円となりました。これは、主に売掛金の増加によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末より619百万円増加し、25,324百万円となりました。これは、主に買掛金の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末より688百万円増加し、25,242百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年2月12日の「2020年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。当第1四半期連結累計期間の業績は順調に進捗しておりますが、Apple社のiOS 14.5アップデートによるインターネット広告業界への影響が不透明であることや、アドプラットフォーム事業において広告クリエイティブ審査体制の強化を予定していることを踏まえ、通期の連結業績予想については据え置きとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,600	15,169
売掛金	17,697	19,832
有価証券	95	75
商品	29	48
貯蔵品	535	646
その他	3,097	2,261
貸倒引当金	△51	△51
流動資産合計	37,004	37,979
固定資産		
有形固定資産	1,276	1,446
無形固定資産		
のれん	2,317	2,180
その他	3,144	3,038
無形固定資産合計	5,462	5,219
投資その他の資産		
投資有価証券	3,959	4,501
繰延税金資産	155	171
その他	1,402	1,249
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	5,516	5,920
固定資産合計	12,255	12,587
資産合計	49,259	50,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,655	17,487
資産除去債務	70	29
賞与引当金	1,193	415
役員賞与引当金	24	19
ポイント引当金	515	566
預り金	2,963	3,140
短期借入金	19	19
1年内返済予定の長期借入金	118	118
その他	1,725	2,018
流動負債合計	23,287	23,815
固定負債		
長期借入金	180	149
資産除去債務	397	397
繰延税金負債	596	725
その他	243	236
固定負債合計	1,417	1,508
負債合計	24,705	25,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,111	1,120
資本剰余金	12,031	12,040
利益剰余金	11,046	11,382
自己株式	△264	△264
株主資本合計	23,924	24,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	463	780
為替換算調整勘定	△10	5
その他の包括利益累計額合計	452	786
新株予約権	7	7
非支配株主持分	170	169
純資産合計	24,553	25,242
負債純資産合計	49,259	50,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,944	6,483
売上原価	855	800
売上総利益	5,088	5,682
販売費及び一般管理費	3,825	4,007
営業利益	1,263	1,675
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	21
投資事業組合運用益	5	2
為替差益	—	226
持分法による投資利益	—	5
雑収入	1	70
その他	29	2
営業外収益合計	51	327
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	55	—
投資事業組合運用損	63	13
その他	9	—
営業外費用合計	128	14
経常利益	1,186	1,988
特別利益		
投資有価証券売却益	166	248
子会社株式売却益	46	—
その他	14	0
特別利益合計	227	248
特別損失		
固定資産除却損	43	33
関係会社株式売却損	77	—
投資有価証券評価損	—	9
持分変動損失	—	11
減損損失	—	74
その他	1	2
特別損失合計	123	131
税金等調整前四半期純利益	1,290	2,104
法人税等	578	760
四半期純利益	711	1,344
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	693	1,344

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	711	1,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△550	341
為替換算調整勘定	△0	2
持分法適用会社に対する持分相当額	7	△9
その他の包括利益合計	△543	334
四半期包括利益	168	1,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149	1,678
非支配株主に係る四半期包括利益	18	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドプラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,490	1,732	1,720	5,944	—	5,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	—	6	△6	—
計	2,490	1,739	1,720	5,951	△6	5,944
セグメント利益	713	459	90	1,263	—	1,263

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

連結子会社であった㈱CMerTVの株式を一部売却したことに伴い、アドプラットフォーム事業ののれんの金額が減少しております。なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第1四半期連結累計期間においては601百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	パートナーセ ールズ事業	アドプラット フォーム事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,064	1,782	1,636	6,483	—	6,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3	—	3	△3	—
計	3,064	1,785	1,636	6,486	△3	6,483
セグメント利益	1,039	491	144	1,675	—	1,675

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「コンシューマー事業」において、連結子会社であるrakanu(株)の事業計画に対する進捗状況や今後の業績見通しを踏まえて検討した結果、同社株式取得時に計上したのれん未償却残高のうち74百万円を当第1四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「アドプラットフォーム」セグメントに含まれていた一部の事業を「パートナーセールス」セグメントに区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。